一人ひとりが障害のことを理解して、それぞれの立場でできることを すると、すべての人が暮らしやすいまちになっていきます

し かく しょう がい

視覚障害

全く見えない場合と見えづらい場合があります。まちを歩いたり、読み書きしたり、身の回りのことをするときなどに困る場合があります。見え方、見えづらさは、個人差が大きく困難を感じる場面も人によって違います。



肢体不自由

病気やケガなどにより体の一部、または全身 に障害があり、障害の程度や状態によってさま ざまな生活上の動きに不自由さがあります。



はっ たつ しょう がい

発達障害

-

いくつかのタイプに分類されており、自閉症、アスペルガー症候群、注意欠如・多動性障害(ADHD)、学習障害など、脳の機能障害によって起こる障害です。同じ障害でも個人差がとても大きいという点が特徴です。

ちてきしょうがい

おおむね18歳ごろまでの発達期に現れた知的機能の障害により、生活上の適応 に困難を生じます。考えたり、理解したり、読んだり、書いたり、計算したり、 話したりするなどの知的な機能に発達の遅れが生じます。

ちょう かく しょう がい

聴覚障害

音が全く聞こえない方もいれば聞こえづらい方もいます。手話、筆談、口語などさまざまなコミュニケーション方法があります。



ない ぶ しょうがい

内部障害

心臓、腎臓、呼吸器など体の内部に障害があり、 外見からは分からない状態です。疲れやすく、長時 間の歩行や作業が困難な場合があります。



せい しん しょう がい

精神障害

統合失調症やうつ病などにより精神機能に障害が生じ、幻覚や妄想、不安や不 眠など精神症状や身体症状、意欲の低下などが見られます。

こう じ のう き のうしょうがい

高次脳機能障害

病気や事故などで脳がダメージを受けたことによって生じる障害です。記憶障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害の症状が現れる場合があります。

なんびょう

多種多様な疾患があり、全面的に介助が必要な方からほとんど介助なく日常 生活を送っている方までさまざまです。医療的対応を必要とすることが多く、 疲れやすさや痛みを伴うことがあったり、一日の中で体調の変動があったりも します。